

科目ナンバリング		U-LAS30 10007 SJ11									
授業科目名 <英訳>		情報基礎演習 [農学部] Practice of Basic Informatics (Faculty of Agriculture)				担当者所属 職名・氏名		農学研究科 教授 伊藤 淳史 農学研究科 講師 鬼頭 弥生 農学研究科 准教授 北野 慎一			
群	情報学科目群			分野(分類) (基礎)			使用言語		日本語		
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習 (対面授業科目)				
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	木3		配当学年	1 回生	対象学生	理系向		
【授業の概要・目的】											
<p>パーソナルコンピュータ（PC）利用経験の浅い学生を主に対象として、コンピュータを活用するための基礎的な知識と技能を修得する。コンピュータの基本的な操作法、セキュリティと倫理、情報検索の方法、構造化された文書の作成法、表計算ソフトによるデータ処理の方法、さらに学術的プレゼンテーション資料作成の基礎までを学ぶ。</p>											
【到達目標】											
<ul style="list-style-type: none"> ・ パーソナルコンピュータのOSとネットワークの利用の基礎的な操作と安全な利用のスキルを得る。 ・ 図書館が提供している情報とその利用法を知る。 ・ 学術的な文書をワードプロセッサで作成するために必要な概念と操作技能を得る。 ・ 表計算ソフトを用いてデータ処理を行う基礎的技能を得る。 ・ プレゼンテーションソフトを用いて学術的プレゼンテーションを行う基礎的技能を得る。 											
【授業計画と内容】											
<p>おおよそ以下の内容について学習する予定である。初回はガイダンスも行う。</p> <p>コンピュータの基礎とネットワークの利用（1週）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ OS (オペレーティングシステム) の基本 ・ 情報セキュリティと情報倫理 <p>情報の探索（1週）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学術情報の流れと併せ、情報探索法の基本を概説する <p>文書の整形と構造化（3週）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Wordによる構造化された文書の作成 ・ Word文書への図表の挿入 ・ Word文書での数式の扱い <p>データ分析の基礎（5週）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Excelによるデータ処理の練習（1週） ・ Excelによる作図法の練習（2週） ・ Excelによる統計分析の練習（2週） <p>プレゼンテーション資料作成の基礎（3週）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PowerPointによるスライド作成 ・ PowerPointによるプレゼンテーションの方法 ・ PowerPointによるプレゼンテーション動画の作成 <p>様々なオンラインツールの利用（1週）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイル共有・共同作業ツールやフォームの利用 <p>フィードバック（1週）</p>											
----- 情報基礎演習 [農学部] (2)へ続く -----											

情報基礎演習 [農学部] (2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

トピックごとに提出を求める課題・レポートで評価する。レポートは授業で学習したポイントを踏まえているかどうか、記述が明解かどうかなどによって評価する。課された課題・レポートについて、授業回数に応じて配点し合計したものを成績とする。

【教科書】

喜多、北村、日置、酒井 『情報基礎演習 2024』（出版はされていません。オンライン版を授業で提供します。）

このほか、授業支援システムPandAでの資料配付を適宜行う。

【参考書等】

（参考書）

必要に応じて授業中に紹介する。

【授業外学修（予習・復習）等】

授業時間外の学習として、トピックごとに提出を求めている課題・レポートについて取り組むことを求める。

【その他（オフィスアワー等）】

質問は随時メールで受け付ける。

情報環境機構が提供する情報セキュリティe-Learningを必ず受講し、修了テストを受けた上で、同テストのフィードバックを確認しておくこと。授業内では受講のための時間は設けないので授業時間外に受講しておくこと。同e-Learningは学生も含めた本学の全構成員に対して毎年受講が求められているものである。2回生以上で過去の年度に受講した場合でも今年度まだ受講していないのであれば必ず受講すること。

この演習では、端末室に設置されたPCを利用することも、履修者自身が持参するノートPCを利用することも可能です（Bring Your Own Device; BYODによる実施）。